

リアルタイム翻訳ツール(仮) for Skype for Business

Microsoft Cognitive Services、IBM Watson Language Translator
Google Translate、iFLYTEK などの音声翻訳サービスを利用し、発話内
容をリアルタイムに翻訳したり、テキスト化を実現しています。

■ 製品名：

リアルタイム翻訳ツール_(仮) for Skype for Business

■ 製品概要：

Skype for Business で話した内容^(*1)を指定した言語^(*2)へリアルタイムにテキスト翻訳もしくは音声翻訳することができます。

Skype 会議の参加者の中に利用言語が異なる参加者がいた場合でも円滑に会議を進めることができます。

※Microsoft Cognitive Services をご利用の場合は、対応言語数は以下ようになります。(2018年12月時点)

*1:音声認識できる言語数： 11言語

*2:音声認識してテキストへ翻訳できる言語数： 60言語 以上

リアルタイム翻訳ツール_(仮) for Skype for Business

Skype for Business でやりとりした会話の内容をそのままテキスト化したり、指定した言語へリアルタイム翻訳、もしくはリアルタイムテキスト翻訳することができます。また、テキスト化した内容はログファイルとして保存し、SharePoint や Microsoft Teams へ議事メモとして自動で保存することができます。



利用言語が異なる方
とのスムーズな
コミュニケーション



聴覚障害者の
会議への参加



音声をテキストで
保存し、議事録作
成の負担を軽減



Skype for Business
との連携

リアルタイムテキスト翻訳 ご利用イメージ

話した内容がテキスト化され、直後にテキスト翻訳もされるため、翻訳が正しくされたかどうかを確認することが出来ます。



シチュエーションで選べる 3つのエディション

利用目的に合わせて、必要な機能を組み合わせご利用いただけます。

※オプションとして、ログを SQL Server にアップロードしデータマイニングを行うことも可能です。

テキスト化 エディション

話した内容をリアルタイムにテキスト化。
聴覚障害者の会議への参加や
議事録作成の負担を軽減できます。



テキスト化機能

テキスト翻訳 エディション

話した内容を自動的に
指定した言語にリアルタイム翻訳。
チャットメッセージとして表示します。



テキスト化機能



テキスト翻訳機能

ボイス翻訳 エディション

翻訳内容を音声で読み上げます。
利用言語が異なる方との
スムーズなボイスチャットを実現します。



テキスト化機能



テキスト翻訳機能



音声読み上げ機能

■ Q1.

リアルタイム翻訳ツール(仮) for Skype for Business は Azure 製品を利用しているが、機密情報を発話した場合に外部へ発話内容が漏洩するリスクは無い？

A1.

マイクロソフトのホームページでは以下のように記載されております。



データ保護とデータ使用の制限に関する責任

マイクロソフトでは、企業がクラウド サービスでホストするデータはその企業に属するものであり、お客様のサービスを提供する以外の目的でクラウド プロバイダーが使用してはならないと考えています。この概念はエンタープライズ クラウド サービスの契約書に盛り込まれており、セキュリティ センターの Web サイトに説明が掲載されています。広告など、サービスの提供と関係のない目的で顧客データを使用することはありません。

[参考URL]

<https://www.microsoft.com/ja-jp/mscorp/privacy/dataprotection.aspx>

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/overview/trusted-cloud/>



FairUSE